

2024年12月19日
株式会社アイスタット
News Release

株式会社アイスタット マンスリーレポート

- 魚離れに関するアンケート -

(調査期間：2024年12月5日)

近ごろ、日本人の魚離れが進んでいると耳にします。そこで、株式会社アイスタット（本社：東京都杉並区、代表取締役社長：志賀保夫）は、一般市民の魚離れの実態を調べるために魚離れに関するアンケート調査を実施しました。

本調査は、業界最大規模のモニター数を誇るセルフ型アンケートツール「Freeasy」を提供するアイブリッジ株式会社（本社：大阪府大阪市）の会員 20 歳～69 歳を対象に調査を実施しました。

調査結果サマリー

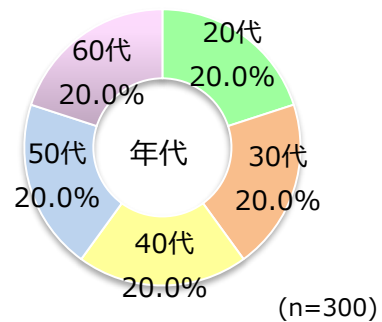
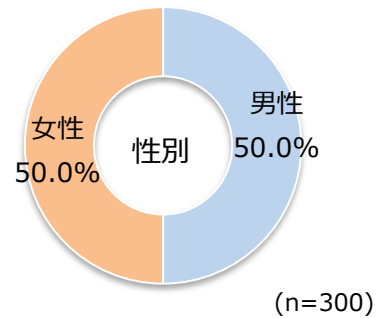
- ✓ 魚料理を食べることが好きな人は約8割！
- ✓ 「魚派 or 肉派」の究極の選択となると、魚派が約4割、肉派が約6割で「肉派」に軍配！
「魚派」の人は、「20代-男性」で最も多い意外な結果！
- ✓ 魚料理を食べる頻度は「月に数回（39.0%）」が最多！ 魚離れを象徴させる結果！
- ✓ 魚料理を食べることが好きにもかかわらず、魚料理を食べる頻度が少ない人が半数近く！
- ✓ 小学生の頃に魚料理を食べた頻度は「週に1～2日（33.7%）」が最多！
「現在」と比べて「小学生の頃」より食べる頻度が減った人は3割！
- ✓ 週に1日以上食べる魚料理は「焼き魚・かば焼き・ホイル焼き・ムニエル」が最多！
- ✓ 魚料理で気になる点の第1位「骨がある」、第2位「食べるのが面倒」、第3位「調理が面倒」
- ✓ 「魚料理は好きだが、食べる頻度が少ない」の人ほど、「価格が高い」「調理が面倒」「魚料理のレパートリーが少ない」と思っている人が多い！
- ✓ 健康診断の結果に何らかの異常がある人は、魚料理を「週1日以上食べる＆食べるように意識している」の割合が多い！

調査概要

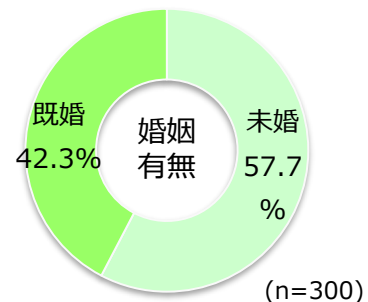
形式	Webアンケート形式
調査期間	2024年12月5日
回答者	セルフ型アンケートツールFreeasyに登録している20歳～69歳の会員300人
調査機関	株式会社アイスタット

【回答者属性】

全体		300名	100.0%
性別	男性	150名	50.0%
	女性	150名	50.0%
年代	20代	60名	20.0%
	30代	60名	20.0%
	40代	60名	20.0%
	50代	60名	20.0%
	60代	60名	20.0%
有 婚 無 姻	未婚	173名	57.7%
	既婚	127名	42.3%
有 子 無 の	子供あり	100名	33.3%
	子供なし	200名	66.7%
居住地	北海道・東北地方	34名	11.3%
	関東地方	125名	41.7%
	中部地方	46名	15.3%
	近畿地方	50名	16.7%
	四国・中国・九州地方・沖縄	45名	15.0%
職業	会社員(正社員)	95名	31.7%
	会社員(契約・派遣社員)	20名	6.7%
	経営者・役員	5名	1.7%
	公務員(教職員を除く)	8名	2.7%
	自営業	12名	4.0%
	自由業	9名	3.0%
	医師・医療関係者	9名	3.0%
	専業主婦	32名	10.7%
	学生	11名	3.7%
	パート・アルバイト	44名	14.7%
	無職	49名	16.3%
	その他	6名	2.0%



平均年齢 (44.9才)



主な分析結果

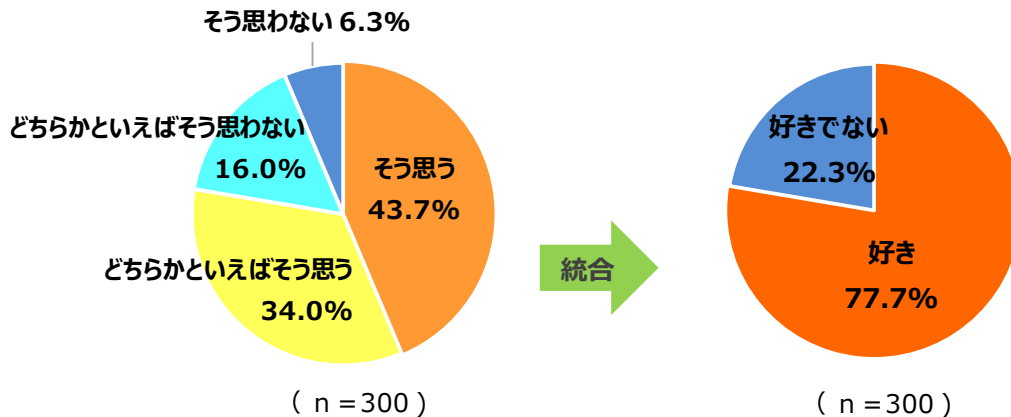
魚料理を食べることが好きな人は約8割！

「魚料理を食べることが好きか」と聞いたところ、「好き」が77.7%、「好きでない」が22.3%で、「好き」の回答が圧倒的に多い結果となった。近ごろ、日本人の魚離れが進んでいると耳にするが、魚離れの要因は「嗜好」の有無ではないことがうかがえる結果であった。

属性別でみると、「好き」を回答した人は「50代 - 男性」「50代 - 女性」「60代 - 女性」「関東地方」で多く、「好きでない」を回答した人は「20代 - 女性」「四国・中国・九州地方・沖縄」で最も多かった。

【Q1】 魚料理を食べることが好きである（回答は1つ）

※ 魚料理はタコ・イカ・カニ・エビ・ウニ・貝類は除く



(横%表)

		魚料理を食べること		n
		好き	好きでない	
全体		77.7	22.3	300
年代×性別	20代-男性	76.7	23.3	30
	20代-女性	63.3	36.7	30
	30代-男性	73.3	26.7	30
	30代-女性	70.0	30.0	30
	40代-男性	76.7	23.3	30
	40代-女性	83.3	16.7	30
	50代-男性	86.7	13.3	30
	50代-女性	86.7	13.3	30
	60代-男性	73.3	26.7	30
	60代-女性	86.7	13.3	30

各項目を縦に見て最大値に彩色

(横%表)

		魚料理を食べること		n
		好き	好きでない	
全体		77.67	22.33	300
居住地	北海道・東北地方	82.35	17.65	34
	関東地方	82.40	17.60	125
	中部地方	73.91	26.09	46
	近畿地方	80.00	20.00	50
	四国・中国・九州地方・沖縄	62.22	37.78	45

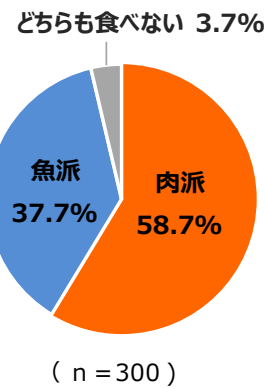
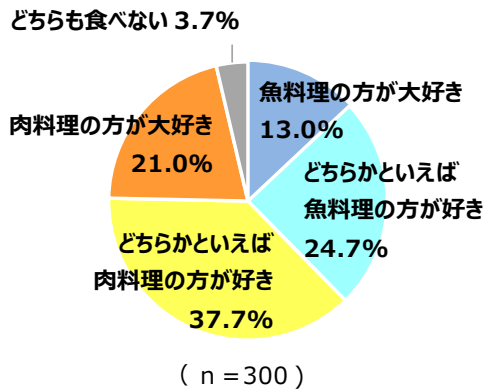
各項目を縦に見て最大値に彩色

「魚派 or 肉派」の究極の選択となると、魚派が約4割、肉派が約6割で「肉派」に軍配！ 「魚派」の人は、「20代-男性」で最も多い意外な結果！

「魚派」それとも「肉派」のどちらにあてはまるかを聞いたところ、「肉派（肉料理の方が好き）」は58.7%、「魚派（魚料理の方が好き）」は37.7%で、「肉派」の方が21ポイント上回る結果であった。その一方、「どちらも食べない」が3.7%いることも明らかとなった。

属性別でみると、「肉派」を回答した人は「40代 - 男性」「北海道・東北地方」で多く、「魚派」を回答した人は「20代 - 男性」「関東地方」が多かった。「魚派」の「20代 - 男性」が最も多い結果は想定外で、従来の図式（若い世代は魚より肉を好み、やがて中高年になるにつれ魚を好むようになる）が通用しなくなっていることが明らかとなった。

【Q2】あなたは「魚派」ですか。それとも「肉派」ですか。（回答は1つ）



(横%表)

		「魚派」or「肉派」			n
		肉派	魚派	どちらも食べない	
全体		58.7	37.7	3.7	300
年代×性別	20代-男性	43.3	56.7	0.0	30
	20代-女性	53.3	30.0	16.7	30
	30代-男性	70.0	23.3	6.7	30
	30代-女性	60.0	40.0	0.0	30
	40代-男性	76.7	16.7	6.7	30
	40代-女性	46.7	50.0	3.3	30
	50代-男性	50.0	50.0	0.0	30
	50代-女性	70.0	26.7	3.3	30
	60代-男性	63.3	36.7	0.0	30
	60代-女性	53.3	46.7	0.0	30

表側項目内を縦に見て最大に彩色

(横%表)

		「魚派」or「肉派」			n
		肉派	魚派	どちらも食べない	
全体		58.7	37.7	3.7	300
居住地	北海道・東北地方	70.6	26.5	2.9	34
	関東地方	51.2	44.8	4.0	125
	中部地方	58.7	37.0	4.3	46
	近畿地方	60.0	38.0	2.0	50
	四国・中国・九州地方・沖縄	68.9	26.7	4.4	45

各項目を縦に見て最大値に彩色

独立性の検定 (カイ2乗検定)

	p 値	判定	相関
年代×性別	0.003	[**]	0.255
居住地	0.463	[]	0.113

クラメル連関係数 ↑

独立性の検定 (カイ2乗検定)

クロス集計を行った結果が、母集団においても関連性があるといえるかを調べる。判定[*]は、母集団に関連性があるといえる。

クラメル連関係数 (相関)

行項目と列項目の関連の強さを示す指標で、0.1以上は2項目間に相関（関連）があるといえる。

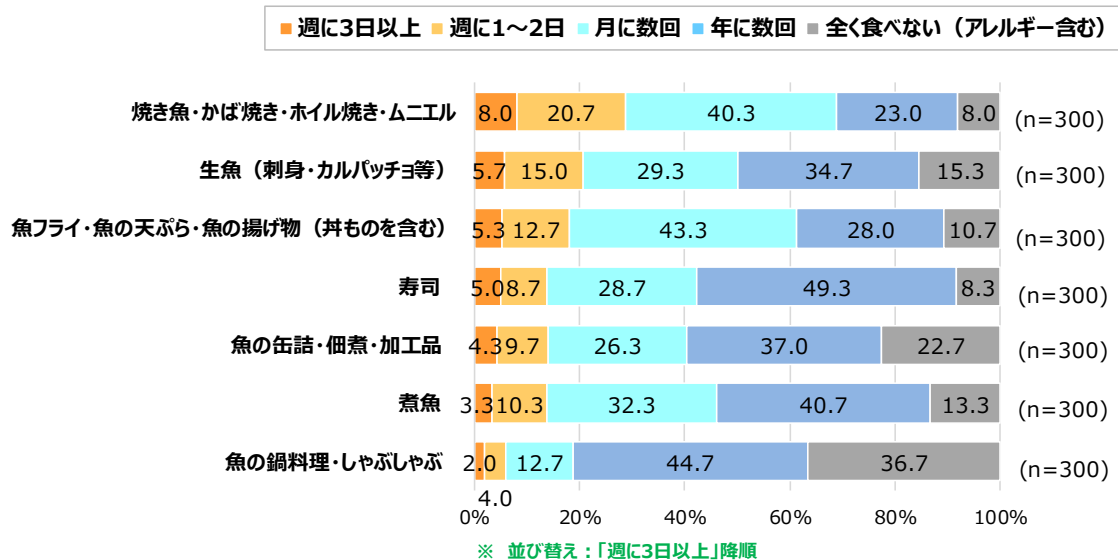
魚料理を食べる頻度は「月に数回（39.0%）」が最多！ 魚離れを象徴させる結果！

提示した魚料理を現在どのぐらいの頻度で食べているかを聞き、この回答から「週に1日以上食べる魚料理」および「料理内容を問わず、魚料理を食べる頻度」を作成した。

週に1日以上食べる魚料理は、「焼き魚・かば焼き・ホイル焼き・ムニエル」が28.7%で最も多く、次に「生魚（刺身・カルパッチョ等）」の20.7%、「魚フライ・魚の天ぷら・魚の揚げ物（丼ものを含む）」の18.0%と続いた。

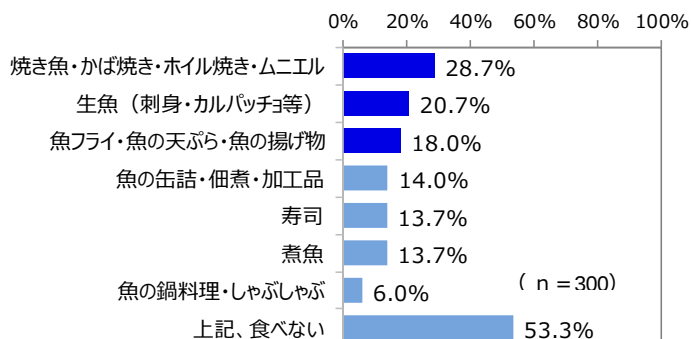
料理内容を問わず、魚料理を食べる頻度は、「月に数回」が39.0%で最も多く、次に「週に1～2日」の30.3%、「週に3日以上」の16.3%と続いた。上位は魚離れを象徴させる結果であった。

【Q3】あなたは現在、下記にあげる魚料理をどのぐらいの頻度で食べていますか。 ※ 魚料理はタコ・イカ・カニ・エビ・ウニ・貝類は除く
(回答は各々1つ)



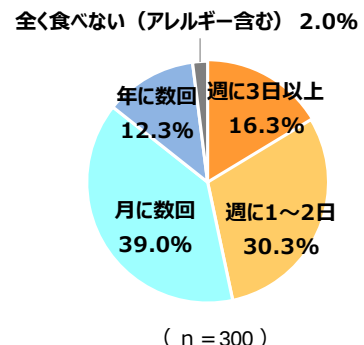
↑ 上記から作成

週に1日以上食べる魚料理（複数回答）



↑ 上記から作成

魚料理を食べる頻度（料理内容問わず）



週に1日以上食べる魚料理を属性別にみた。

「焼き魚・かば焼き・ホイル焼き・ムニエル」を回答した人は、「30代 - 男性」「50代 - 女性」「北海道・東北地方」「既婚」「子供あり」ほど多かった。

(横%表)

		週に1日以上食べる魚料理（複数回答可）								n
		焼き魚・かば焼き・ホイル焼き・ムニエル	生魚（刺身・カルパッチョ等）	魚フライ・魚の天ぷら・魚の揚げ物（丼ものを含む）	魚の缶詰・佃煮・加工品	寿司	煮魚	魚の鍋料理・しゃぶしゃぶ	上記、食べない	
全体		28.7	20.7	18.0	14.0	13.7	13.7	6.0	53.3	300
年代 × 性別	20代-男性	30.0	46.7	36.7	20.0	33.3	26.7	16.7	36.7	30
	20代-女性	20.0	10.0	20.0	3.3	13.3	16.7	3.3	66.7	30
	30代-男性	40.0	16.7	13.3	20.0	16.7	20.0	13.3	53.3	30
	30代-女性	26.7	13.3	20.0	20.0	16.7	13.3	6.7	53.3	30
	40代-男性	30.0	26.7	26.7	13.3	16.7	20.0	10.0	50.0	30
	40代-女性	26.7	10.0	6.7	13.3	6.7	6.7	0.0	60.0	30
	50代-男性	16.7	26.7	3.3	20.0	10.0	0.0	3.3	56.7	30
	50代-女性	40.0	20.0	23.3	20.0	6.7	13.3	0.0	40.0	30
	60代-男性	30.0	20.0	26.7	6.7	10.0	13.3	0.0	53.3	30
	60代-女性	26.7	16.7	3.3	3.3	6.7	6.7	6.7	63.3	30
居住地	北海道・東北地方	41.2	17.6	23.5	5.9	8.8	14.7	2.9	50.0	34
	関東地方	28.0	21.6	16.8	16.8	15.2	14.4	7.2	49.6	125
	中部地方	21.7	23.9	15.2	10.9	17.4	15.2	4.3	56.5	46
	近畿地方	28.0	30.0	20.0	24.0	16.0	14.0	8.0	52.0	50
	四国・中国・九州地方・沖縄	28.9	6.7	17.8	4.4	6.7	8.9	4.4	64.4	45
婚姻有無	未婚	24.3	20.2	19.1	12.1	12.7	14.5	6.4	59.5	173
	既婚	34.6	21.3	16.5	16.5	15.0	12.6	5.5	44.9	127
子どもの有無	子供あり	32.0	22.0	15.0	17.0	15.0	12.0	8.0	44.0	100
	子供なし	27.0	20.0	19.5	12.5	13.0	14.5	5.0	58.0	200

表側項目内を縦に見て最大に彩色

魚料理を食べることが好きにもかかわらず、魚料理を食べる頻度が少ない人が半数近く！

魚料理を食べる頻度（5分類）を「週に1日以上」「それ以外（少ない）」の2分類に統合して属性別にみた。

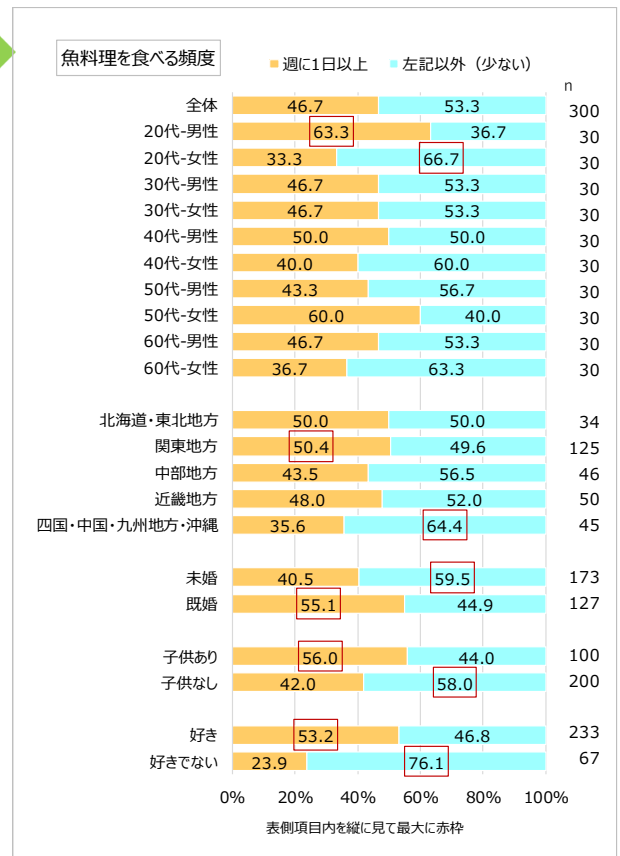
- ・「週に1日以上」は46.7%、「それ以外（少ない）」は53.3%で、「週に1日以上」がわずかに下回る結果であった。
- ・「週に1日以上」を回答した人は「20代 - 男性」「関東地方」「既婚」「子供あり」「魚料理を食べることが好き」ほど多かった。「既婚」「子供あり」が多かったことは栄養バランスを考慮していることがうかがえ、納得がいく結果であった。
- ・「少ない」を回答した人は「20代 - 女性」「四国・中国・九州地方・沖縄」「未婚」「子供なし」「魚料理を食べることが好きでない」ほど多かった。
- ・ 魚料理を食べることが好きな人（233名）のみで魚料理を食べる頻度をみると、「週に1日以上」は 53.2%、「それ以外（少ない）」は 46.8%で、魚料理を食べることが「好き」にもかかわらず、魚料理を食べる頻度が少ない人が半数近くいることが明らかとなった。

(横%表)

		魚料理を食べる頻度（料理内容は問わない）					n
		週に3日以上	週に1～2日	月に数回	年に数回	全く食べない（アレルギー含む）	
全体		16.3	30.3	39.0	12.3	2.0	300
年代 × 性別	20代・男性	23.3	40.0	30.0	6.7	0.0	30
	20代・女性	16.7	16.7	43.3	13.3	10.0	30
	30代・男性	20.0	26.7	20.0	30.0	3.3	30
	30代・女性	30.0	16.7	40.0	10.0	3.3	30
	40代・男性	13.3	36.7	43.3	6.7	0.0	30
	40代・女性	6.7	33.3	40.0	16.7	3.3	30
	50代・男性	16.7	26.7	46.7	10.0	0.0	30
	50代・女性	20.0	40.0	33.3	6.7	0.0	30
	60代・男性	6.7	40.0	43.3	10.0	0.0	30
	60代・女性	10.0	26.7	50.0	13.3	0.0	30
居住地	北海道・東北地方	14.7	35.3	41.2	2.9	5.9	34
	関東地方	16.8	33.6	38.4	9.6	1.6	125
	中部地方	13.0	30.4	39.1	15.2	2.2	46
	近畿地方	24.0	24.0	36.0	16.0	0.0	50
	四国・中国・九州地方・沖縄	11.1	24.4	42.2	20.0	2.2	45
婚姻有無	未婚	17.3	23.1	41.0	15.6	2.9	173
	既婚	15.0	40.2	36.2	7.9	0.8	127
子どもの有無	子供あり	14.0	42.0	37.0	6.0	1.0	100
	子供なし	17.5	24.5	40.0	15.5	2.5	200
魚料理を食べること	好き	18.5	34.8	38.2	8.2	0.4	233
	好きでない	9.0	14.9	41.8	26.9	7.5	67

表側項目内を縦に見て最大に彩色

統合



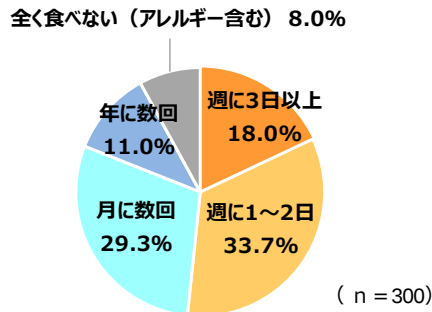
小学生の頃に魚料理を食べた頻度は「週に1～2日（33.7%）」が最多！ 「現在」と比べて「小学生の頃」より食べる頻度が減った人は3割！

小学生の頃、学校の給食以外に魚料理をどのくらいの頻度で食べていたかを聞いたところ、「週に1～2日」が33.7%で最も多かった。

「小学生の頃」と「現在」で魚料理を食べる頻度がどのくらい変化したかを調べた。全体の回答割合で比較してみると、「週に3日以上」「週に1～2日」は小学生の頃より現在の方が少なかった。次に個人（回答者それぞれ）の増減状況を作成し、その割合で比較してみると、「減った人」は30.3%、「増えた人」は27.7%で「減った人」が最も多いことが明らかとなった。

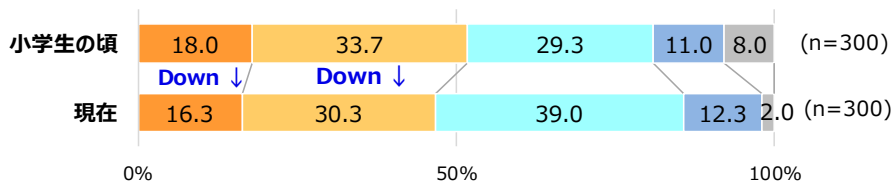
【Q4】小学生の頃、学校の給食以外に魚料理をどのくらいの頻度で食べていましたか。※ 魚料理の内容は問わず（回答は1つ）

※ 魚料理はタコ・イカ・カニ・エビ・ウニ・貝類は除く

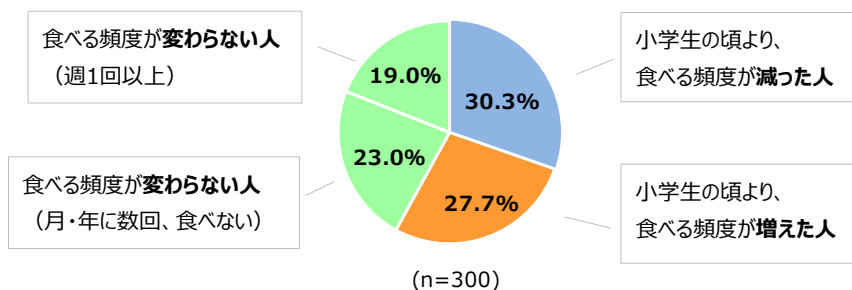


全体の割合比較 魚料理を食べる頻度 【 現在 vs 小学生の頃 】

■ 週に3日以上 ■ 週に1～2日 ■ 月に数回 ■ 年に数回 ■ 全く食べない（アレルギー含む）



個人の増減比較 魚料理を食べる頻度 【 小学生の頃 と 現在を比べて変化したか 】



個人の増減比較を属性別にみると、

小学生の頃より、魚料理を食べる頻度が減った人は「40代 - 女性」「既婚」「子供なし」「健康診断の結果に異常なし」で多かった。

小学生の頃より、魚料理を食べる頻度が増えた人は「50代 - 女性」「既婚」「子供あり」「健康診断の結果に異常あり」で多かった。

※「健康診断の結果」の質問は最後のページ（Q7）にて説明

(横%表)

		小学生の頃と現在の魚料理を食べる頻度				n
		小学生の頃より、 食べる頻度は 減った	小学生の頃より、 食べる頻度は 増えた	小学生の頃と 食べる頻度は 変わらない (月・年に数回、 食べない)	小学生の頃と 食べる頻度は 変わらない (週1回以上)	
全体		30.3	27.7	23.0	19.0	300
年代 × 性別	20代-男性	13.3	36.7	23.3	26.7	30
	20代-女性	23.3	23.3	43.3	10.0	30
	30代-男性	30.0	33.3	20.0	16.7	30
	30代-女性	13.3	40.0	36.7	10.0	30
	40代-男性	33.3	20.0	20.0	26.7	30
	40代-女性	63.3	3.3	13.3	20.0	30
	50代-男性	30.0	10.0	33.3	26.7	30
	50代-女性	26.7	50.0	6.7	16.7	30
	60代-男性	36.7	36.7	6.7	20.0	30
	60代-女性	33.3	23.3	26.7	16.7	30
婚姻有無	未婚	29.5	23.7	31.2	15.6	173
	既婚	31.5	33.1	11.8	23.6	127
子どもの 有無	子供あり	29.0	29.0	12.0	30.0	100
	子供なし	31.0	27.0	28.5	13.5	200
健康診断 の結果	異常あり	28.3	36.4	14.1	21.2	99
	異常なし	31.3	23.4	27.4	17.9	201

表側項目内を縦に見て最大に彩色

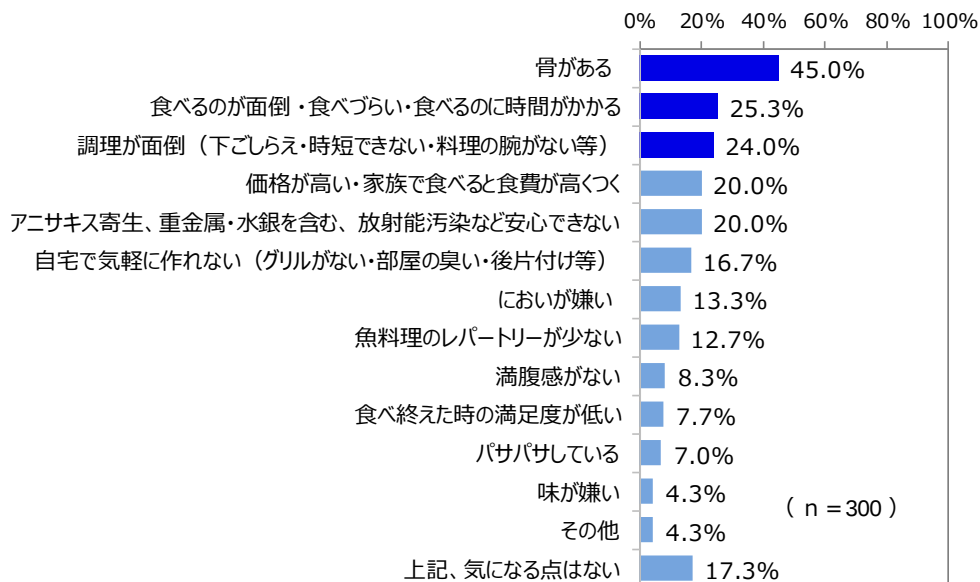
魚料理で気になる点の第1位「骨がある」、第2位「食べるのが面倒」、第3位「調理が面倒」

魚料理で気になる点を複数回答で聞いたところ、「骨がある」が45.0%で最も多く、次に「食べるのが面倒・食べづらい・食べるのに時間がかかる」の25.3%、「調理が面倒（下ごしらえ・時短できない・料理の腕がない等）」の24.0%の順で続いた。

「魚料理が好き」と「食べる頻度」を組み合わせたくくり（魚料理が好き × 食べる頻度）ごとにみると、「**魚料理が好きでないから、食べる頻度も少ない**」の人ほど「**においが嫌い**」「**味が嫌い**」「**食べるのが面倒・食べづらい・食べるのに時間がかかる**」「**骨がある**」「**自宅で気軽に作れない**」「**満腹感がない**」の回答が多かった。また、「**魚料理は好きだが、食べる頻度が少ない**」の人ほど「**価格が高い・家族で食べると食費が高つく**」「**調理が面倒**」「**魚料理のレパートリーが少ない**」の回答が多かった。魚離れの改善につながる結果とうかがえた。

【Q5】あなたが魚料理で、気になる点をお知らせください。
(回答は1つ)

※ 魚料理はタコ・イカ・カニ・エビ・ウニ・貝類は除く



(横%表)

並び替え：①彩色ごと ②「全体の値」から「彩色の値」を差し引いた値の降順

		魚料理で、気になる点（複数回答可）												n
		においが嫌い	味が嫌い	食べるのが面倒・食べづらい・食べるのに時間がかかる	骨がある	自宅で気軽に作れない（グリルがない・部屋の臭い・後片付け等）	満腹感がない	食べ終えた時の満足度が低い	パサパサしている	見た目がいや・やわらかい・歯ごたえがない・魚アレルギー	価格が高い・家族で食べると食費が高つく	調理が面倒（下ごしらえ・時短できない・料理の腕がない等）	魚料理のレパートリーが少ない	
全体		13.3	4.3	25.3	45.0	16.7	8.3	7.7	7.0	4.3	20.0	24.0	12.7	300
好き × 頻度	魚料理が好き - 週に1日以上食べる	9.7	2.4	21.0	39.5	15.3	9.7	6.5	6.5	4.8	21.8	25.8	12.9	124
	魚料理が好き - 食べる頻度少ない	11.9	0.0	25.7	48.6	16.5	7.3	6.4	3.7	1.8	26.6	27.5	13.8	109
	魚料理が好きでない - 週に1日以上食べる	12.5	12.5	31.3	43.8	18.8	0.0	31.3	18.8	12.5	6.3	6.3	12.5	16
	魚料理が好きでない - 食べる頻度少ない	25.5	15.7	33.3	51.0	19.6	9.8	5.9	11.8	5.9	5.9	17.6	9.8	51

※ 頻度少ない ➡ 月数回、年数回、食べない（アレルギー含む）

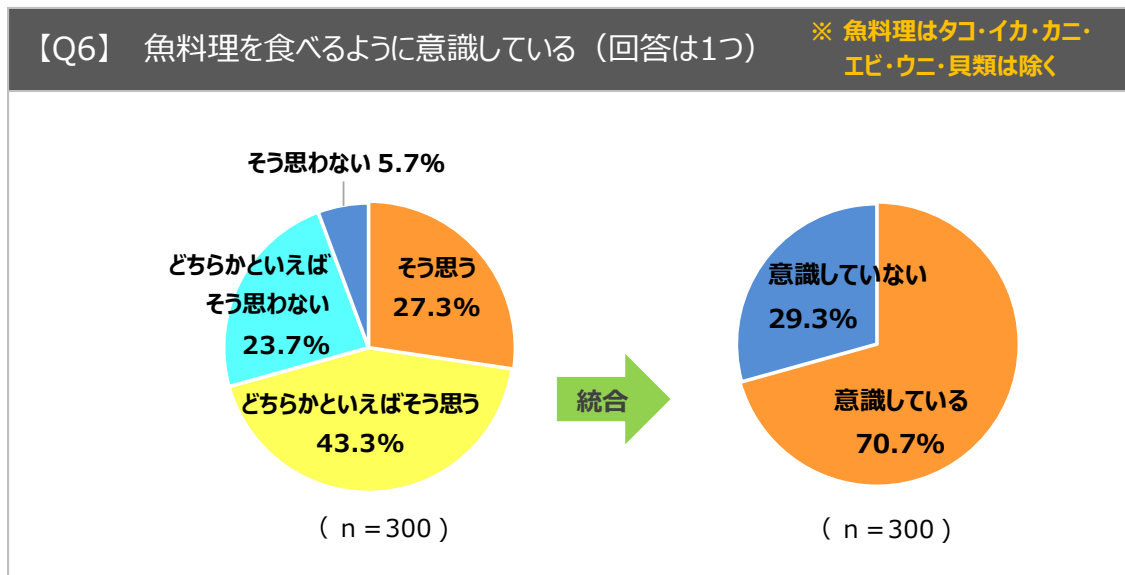
表側項目内を縦に見て最大に彩色・n = 30未満は参考値

魚料理を食べるように意識している人は7割！

「魚料理を食べるように意識しているか」を聞いたところ、「意識している」が70.7%、「意識していない」が29.3%で、「意識している」の回答が多い結果となった。

属性別でみると、「意識している」を回答した人は「50代-女性」で多く、「意識していない」を回答した人は「30代-男性」で多かった。

また、魚料理を食べるように「意識している人」は、「魚料理を食べることが好きな人」ほど多いことが明らかとなった。さらに「意識している人」は、魚料理を食べる頻度が「週に1日以上」で多い妥当な結果であった。



（横%表）

		魚料理を食べること		n
		意識している	意識していない	
全体		70.7	29.3	300
年代×性別	20代-男性	63.3	36.7	30
	20代-女性	56.7	43.3	30
	30代-男性	50.0	50.0	30
	30代-女性	63.3	36.7	30
	40代-男性	70.0	30.0	30
	40代-女性	70.0	30.0	30
	50代-男性	80.0	20.0	30
	50代-女性	90.0	10.0	30
	60代-男性	80.0	20.0	30
	60代-女性	83.3	16.7	30

表側項目内を縦に見て最大に彩色

（横%表）

		魚料理を食べること		n
		意識している	意識していない	
全体		70.7	29.3	300
魚料理を食べること	好き	84.5	15.5	233
	好きでない	22.4	77.6	67
魚料理を食べる頻度	週に1日以上	87.1	12.9	140
	少ない	56.3	43.8	160

独立性の検定（カイ2乗検定）

		p 値	判定	相関
年代×性別 食べること 頻度		0.013	[*]	0.264
		0.000	[**]	0.569
		0.000	[**]	0.339

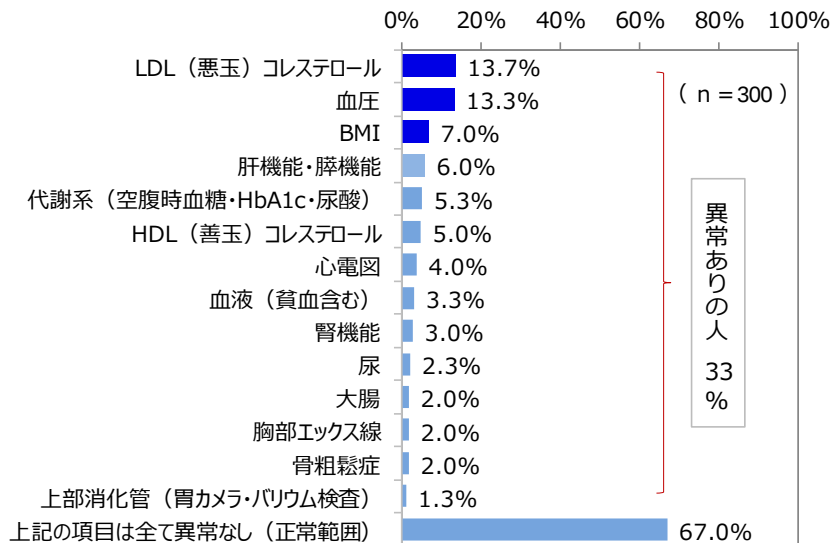
クラメル連関係数↑

健康診断の結果に何らかの異常がある人は、 魚料理を「週1日以上食べる＆食べるように意識している」の割合が多い！

健康診断または病医院の検査で正常範囲でない結果を複数回答で聞いたところ、「異常なし」が67.0%、「何らかの異常があり」が33.0%で「異常なし」の人が多い結果であった。

「魚料理を食べる頻度」と「食べることを意識している」を組み合わせたくりごとにもみると、検査結果で異常があると回答した人は、魚料理を「週に1日以上食べる-食べることを意識している」で最も多かった。異常があったからこそ、魚料理を食べるように心がけていることがうかがえた。また、「小学生の頃の魚料理を食べた頻度」と「健康診断の異常有無」との関連をみると、今回の結果では相関（関連）が低いことが明らかとなった。

【Q7】 あなたが受けた健康診断の最新の結果で、「軽度異常・要経過観察・要精密検査・要治療・治療中」のものがあればお知らせください。（回答はいつでも）



（横%表）

		健康診断または病医院の検査で正常範囲でない結果（複数回答可）														n
		LDL（悪玉）コレステロール	血圧	BMI	肝機能・膵機能	代謝系（空腹時血糖・HbA1c・尿酸）	HDL（善玉）コレステロール	心電図	血液（貧血含む）	腎機能	尿	大腸	胸部エックス線	骨粗鬆症	上部消化管（胃カメラ・バリウム検査）	
魚料理	全体	13.7	13.3	7.0	6.0	5.3	5.0	4.0	3.3	3.0	2.3	2.0	2.0	2.0	1.3	67.0
	週に1日以上食べる - 食べることを意識している	18.9	17.2	9.0	10.7	9.0	10.7	5.7	6.6	4.9	4.1	4.9	4.1	4.1	3.3	55.7
	週に1日以上食べる - 食べることを意識していない	5.6	5.6	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	77.8
	食べる頻度少ない - 食べることを意識している	14.4	13.3	5.6	2.2	3.3	1.1	3.3	1.1	2.2	2.2	0.0	1.1	1.1	0.0	70.0
	食べる頻度少ない - 食べることを意識していない	5.7	8.6	7.1	4.3	0.0	1.4	2.9	1.4	1.4	0.0	0.0	0.0	0.0	80.0	70

※ 頻度少ない ➡ 月数回、年数回、食べない（アレルギー含む）

表側項目内を縦に見て最大に彩色・n = 30未満は参考値

		健康診断の結果		n
		何らかの異常あり	異常なし	
全体		33.0	67.0	300
小学生の頃、魚料理を食べた頻度	週に1日以上	36.1	63.9	155
	少ない	29.7	70.3	145

表側項目内を縦に見て最大に彩色

▼独立性の検定（カイ2乗検定）

小学生の頃

p値	判定	相関
0.233	[]	0.069

サマリーレポートはこちらを参照ください。

<https://istat.co.jp/investigation/2024/12/result>

統計分析研究所 株式会社アイスタットについて

【株式会社アイスタット（統計分析研究所）会社概要】

◇所在地 〒166-0011 東京都杉並区梅里1-22-26 パラドール東高円寺3F（旧YTビル）

◇設立 2011年6月2日

◇代表者 代表取締役社長 志賀 保夫 / 代表取締役会長 菅 民郎

◇事業内容 株式会社アイスタット(統計分析研究所)は、統計学 を礎とした情報サービス業 に従事しています。

◆本調査・弊社事業などに関するお問合せ先◆

統計分析研究所 株式会社アイスタット <https://istat.co.jp/>

総務部 橋本 有子 (somu@istat.jp) TEL: 03-3315-7637/FAX: 03-3315-7660

サービスのご案内

株式会社アイスタット(統計分析研究所)は、統計学 を礎とした情報サービス業 に従事しています。「わかりやすい統計学」をモットーに、8つのコア・サービスをみなさまにご提供いたします。

